

2013年度 事業報告書

自 2013年4月1日 至 2014年3月31日

一般財団法人日本ホテル教育センター

2013年度 事業報告書

I 全体事業概況

当法人は、2013年4月1日、「一般財団法人日本ホテル教育センター」へ移行し事業を開始しました。一般財団法人移行後、定款に定めた教育関連を中心とする各事業は、従来から行っていた事業を含め、概ね順調に推移しております。

今年度、定款第2章「目的及び事業」に基づく事業を遂行し、ホテル及び旅館を中心とするホスピタリティ産業の人材育成を図って参りました。主な事業の概況は次の通りです。

1、教材の販売

合計56種類、11,734冊を全国の教育機関、企業等に販売しました。

2、塾の運営

年間方針、年間計画に沿って塾の運営を行い、ホテル産業経営塾14人、マイス塾11人が入塾し全員が卒塾しました。

3、学生観光論文コンテストの実施

開始から3年目を迎え、今年度は合計62編の応募がありました。論文内容は年々向上し、業界に対する具体的提案等が多く見られ、観光立国推進に寄与する事業の一つとして業界、教育機関等への認知は広がりつつあります。

4、検定事業

ホテルビジネス実務検定試験の年間受験者は3,114人、1999年度からの累計受験者は33,096人。和食検定につきましては、年間受験者524人、2011年度からの累計受験者は1,472人に至りました。2013年12月、「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録され、「和食」についての注目が高まることが予想される中、2014年1月、和食検定基本レベル、実務レベルに続き「入門レベル」（日英併記版検定準拠教材を使用）の導入が決定し開発に着手しました。

5、国際交流の推進

日本旅館国際女将会の活動を支援し、海外研修の一環として世界のホスピタリティ体験シリーズ（3）「スペイン・スタディ・ツアー」を企画、運営しました。

当法人の定款に定める事業は次の通りで、今後、観光業界、ホテル・旅館業界等の将来を展望しつつ、事業の確実な実施と拡大を図り、観光産業の発展と振興に寄与する方針です。

- (1) ホスピタリティ業界の情報収集と提供
- (2) ホスピタリティ業界における教材、システム及びプログラム等の開発と普及
- (3) 教育及び研修の機会設定と推進
- (4) ホスピタリティ業界人への啓蒙運動と人的交流の推進
- (5) 各種検定システムの構築と普及
- (6) 海外研修生受入と国際交流の推進
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2013年度の事業につきましては、以下、II 事業報告、III 理事・監事・評議員人事、IV 評議員会、理事会等の会議の項目に分けて、次の通りご報告致します。

II 事業報告

1、ホスピタリティ業界の情報収集と提供

観光関連団体が発行、発刊する関係資料及び業界誌等、和書41冊を学校法人日本ホテル学院と共同で収集し、図書資料室に配備した。2013年度末の収集書籍は、洋書1,577冊、和書5,333冊、視聴覚資料467点、合計7,377冊(点)に至っている。

2、ホスピタリティ業界における教材、システム及びプログラム等の開発と普及

(1) 教材販売事業

学校法人日本ホテル学院が制作する教材を販売受託し、全国の大学、専修学校、短期大学等の教育機関、ホテル関連企業等に対して、計56種類、11,734冊を販売した。

- ①基礎教育テキスト 45種類 6,375冊
- ②検定関連テキスト 5種類 4,859冊
- ③基本シリーズ 6種類 500冊

3、教育及び研修の機会設定と推進

(1) ホテル産業経営塾の運営

2001年度に発足し、13年目を迎えたホテル産業経営塾は、入塾者14人全員が卒塾し、卒塾者累計は300人となった。実施した年間プログラムは次の通り。

■年間プログラム

回数	日程	テーマ	講師(敬称略)
5月17日		入塾式、オリエンテーション	MICE塾と合同実施
第一期	1 5月24日	総支配人の果たすべき役割とリーダーシップ	田中 勝 ホテル産業経営塾塾長
	2 6月14日	ロジカルシンキング	渡辺 パコ デジタルハリウッド大学
	3 6月28日	リスク マネジメント	木山 泰嗣 鳥飼総合法律事務所
	4 7月12日	ホテルのカスタマー リレーションシップ マネージメント～CRM実践講座～	小林 武嗣 C&RM株式会社
	5 7月26日	人の育成と評価	衛藤 英則 PDIジャパン(株)
第二期	6 8月9日	ホテル産業の中期展望	春口 和彦 ホテル産業経営塾特別顧問
	7 9月13日	ネットマーケティングと ソーシャルネットワーク活用戦略	舘田 智 フェリックス・ウェイ
	8 9月27日	プレゼンテーションスキルトレーニング	三原 昭久 ヒューマンリソース総合研究所
	9 10月11日	マーケティング発想 ＝マインドマップを活用した＝	横山 文人 亜細亜大学
	10 10月25日	地域を観光で潤すマーケティング ～少子高齢化の視点から～	高橋 敦司 東日本旅客鉄道株式会社
	11 11月8日	レベニューマネージメント	堀口 洋明 株式会社亜欧堂

	12	11月22日	レストランマネジメント ～成功のための仕組み～	清水 均 株式会社プロジェクト・ドゥ ホスピタリティマネジメント研究所
第三期	13	12月13日	顧客満足度向上の意義と実践	沼波 千恵 J.D.POWER Asia Pacific クライアント SG サービス&エマージングインダストリー
	14	1月10日	ホテルブランドマネジメント	小々馬 敦 産業能率大学経営学部
	15	1月24日	ホスピタリティビジネスにおける リーダーシップ開発	細川 馨 ビジネスコーチ株式会社
	16	2月14日	卒塾論文発表(プレゼンテーション)	塾生個人発表
	17	2月28日	年間総括	田中 勝 ホテル産業経営塾塾長
	3月14日		卒塾式、懇親会	MICE塾と合同開催

(2) MICE (マイス) 塾の運営

2011年度に発足し3年目を迎えたマイス塾は、入塾者11人全員が卒塾し、卒塾者累計は28人となった。実施した年間プログラムは次の通り。

■年間プログラム

回数	日程	テーマ	講師(敬称略)
	5月17日	入塾式、オリエンテーション	ホテル塾と合同実施
1	5月31日	マイスビジネスの特性と現状	浅井 新介 マイス塾塾長
2	6月7日	マイス・マーケティング	浅井 新介 マイス塾塾長
3	6月21日	マイス・プロモーション①(国内)	大野 修一 グランドハイアット東京
4	7月5日	マイス・プロモーション②(海外)	川島 久男 川島アソシエイツ
5	7月19日	エグジビション(E)マネジメント	於久田 幸雄 (株)MICEジャパン
6	8月2日	マイス 投資対効果	徳永 清久 (株)プリンスホテル
7	9月6日	リゾートマイス	堀 圭吾 株式会社星野リゾート
8	9月20日	ネットマーケティング	舘田 智 フェリックス・ウェイ(有)
9	10月4日	企業ミーティングプランナーがホテルに望むこと	福島 安秀 日本アルコン(株)
10	10月18日	プレゼンテーション・スキル・トレーニング	今井 亜紀 PDIジャパン
11	11月1日	インセンティブ(I)マネジメント	浅香 雅司 MICE Services EVEN
12	11月15日	コンベンション(C) & エグジビション(E) マネジメント	太田 正隆 (株)JTB総合研究所

13	12月6日	収益管理＝レベニュー・マネジメント	堀口 洋明 （株）亜欧堂
14	1月17日	マイル提案企画書作成の基本	桑原 彰 （株）セカンドライン
15	1月31日	ミーティング（M）マネジメント	吉田 敦 （株）シーキューブ・プランニング
16	2月7日	卒業論文発表（プレゼンテーション）	塾生個人発表
17	2月21日	マイルビジネスの課題と将来性	浅井 新介 マイル塾塾長
	3月14日	卒業式、懇親会	ホテル産業経営塾と合同開催

また、マイル塾の関連のイベントを次の通り開催した。

①マイル塾 in 関西

- ・月日：2013年6月11日（火）～6月12日（水）
- ・場所：神戸ポートピアホテル
- ・内容：マイルのマーケティング戦略とセールス技法
- ・参加：18人（ホテル業界関係者、旅行業界関係者、他）

②マイル塾 in 星野リゾート

- ・月日：2013年10月8日（火）～10月9日（水）
- ・場所：リゾナーレ八ヶ岳
- ・内容：リゾートマイルの体験と星野リゾートのマイル戦略
- ・参加：10人（ホテル業界関係者、旅行業界関係者、他）

(3) ホテル業界の従業員に対する研修

一般社団法人日本ホテル協会 第12回管理者研修を受託。

- ・日程：8月19日（月）～8月21日（水）
- ・場所：専門学校日本ホテルスクール
- ・内容：ホテル経営者の意思決定に関わる包括的な経営能力の向上
- ・参加：24人
- ・使用システム：当財団開発のHMS（ホテル・マネジメント・シミュレーション）

(4) その他実施した研修等

和食、人材教育、H検関連の研修を中心に計6件、141人の業界関係者及び学生に実施。

日程	主催者、研修名	参加人数
6月10日（月）	玉川大学 江頭ホスピタリティ事業振興財団寄附講座Ⅰ 「和の食文化とおもてなし」	21
6月27日（木）	公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構 「和食研修会」	14
7月9日（火）	玉川大学 江頭ホスピタリティ事業振興財団寄附講座Ⅱ 「ホテルの人材教育」	50

8月8日(木)	当財団主催 ホスピタリティ教育セミナー2013 教育・研修担当者のための「講師力UP」と 「H検活用術セミナー」	30
10月5日(土) 10月19日(土)	東洋学園大学 「H検受験対策講座」	17
2月8日(土)	当財団主催 H検教育セミナー2013 ベーシックレベル2級受験のための2013年度第 2回試験対策直前セミナー	9
	合計	141人

4、ホスピタリティ業界人への啓蒙運動と人的交流の推進

(1) 第3回学生観光論文コンテストの実施

①目的 観光立国推進事業の一環として、学生に対し「観光」に関する啓蒙を行うことにより、学生の立場で観光事業に対する興味関心を高め、大局から業界を見つめる視点を養うことを目的とする。

②共催：公益財団法人日本ナショナルトラスト

③協賛：一般社団法人全日本シティホテル連盟

④後援：国土交通省観光庁、公益社団法人日本観光振興協会
一般社団法人日本ホテル協会、一般社団法人日本旅館協会

⑤テーマ（3つのテーマから1つを選択）

A：観光立国で日本を元気にする方策について、私の提案

B：観光資源保護におけるナショナル・トラスト活動の役割について、私の提案

C：我が国のMICE競争力強化に向けて、私の提案

⑥応募論文総数 62編

⑦審査結果

【最優秀賞】（観光庁長官賞）

- ・学校名 桜美林大学リベラルアーツ学群 数学専攻4年 尾羽伸紘
- ・選択テーマ A) 観光立国で日本を元気にする方策について、私の提案
- ・題名 鉄道ネットワークを生かした、地方地域の発展に導くための『鉄道観光モデル』の提案

【優秀賞】（公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞）

- ・学校名 明治大学経営学部公共経営学科 菊地ゼミ3年 森山真稔他3名
- ・選択テーマ B) 観光資源保護におけるナショナル・トラスト活動の役割について、私の提案
- ・題名 集約型自治体クラウドファンディング・システムによる伝統的景観の形成と観光立国の推進戦略に関する研究

【優秀賞】（一般社団法人全日本シティホテル連盟会長賞）

- ・学校名 桜美林大学ビジネスマネジメント学群ビジネスマネジメント学類
ツーリズム・ホテル・エンターテイメントコース3年 菊川慶子
- ・選択テーマ A) 観光立国で日本を元気にする方策について、私の提案
- ・題名 日本における観光系大学の役割
ーなぜ観光系大学の学生の観光産業界への就職率は低いのかー

⑧審査委員（10人、敬称略 順不同）

- 中村 裕 元（一社）社団法人日本ホテル協会会長（本コンテスト審査委員長）
 石原 大 国土交通省観光庁観光産業課長
 石川尅巳 元 株式会社ジェイティービー常勤監査役
 鈴木 勝 桜美林大学ビジネスマネジメント学群教授
 山上 徹 同志社女子大学現代社会学部特任教授
 太田 進 (株)オータパブリケーションズ代表取締役社長
 阿部貞三 (株)柴田書店編集企画部取締役部長
 江口英一 (株)観光経済新聞社企画推進部部长
 小山正宣 (公財)日本ナショナルトラスト理事長（本コンテスト共催団体）
 中山智雄 (一社)全日本シティホテル連盟専務理事（本コンテスト協賛団体）

⑨表彰式

- ・日時 2014年2月18日（火）15：30～16：30
- ・場所 第42回国際ホテル・レストラン・ショー会場内
- ・内容 最優秀賞1編、優秀賞2編の表彰、大学関係者への対応、他

⑩応募学校名一覧（2013年度、五十音順）

会津大学短期大学部 桜美林大学 関西学院大学 京都大学 九州国際大学
 駒澤大学 国士舘大学 産業能率大学 上智大学 椋山女学園大学 西南女学院大学
 摂南大学 専修大学 高崎経済大学 多摩大学 中央大学 帝京大学 東京大学
 東洋大学 同志社大学 一橋大学 福島県立テクノアカデミー会津職業能力開発短期大学校
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校 明治大学 山口大学 立教大学
 立命館大学 早稲田大学 以上、全28大学等

5、各種検定システムの構築と普及

(1) ホテルビジネス実務検定試験

①試験日・会場

- 第1回：2013年11月28日（木）札幌、東京、大阪、福岡 及び団体受験会場
 第2回：2014年 3月15日（土）札幌、東京、大阪、福岡 及び団体受験会場
 随時試験：8事業所（ホテル）で実施

②2013年度受験実績

区分	学校数・企業数	%	受験人数	%
専門学校	61	47	2,262	73
企業	58	45	440	14
大学・短大	11	8	120	4
個人	—	—	292	9
合計	130	100	3,114	100

③年度別受験、認定状況

【ベーシックレベル】（1級・2級）

（人）

年度\級	ベーシックレベル1級			ベーシックレベル2級		
	受験者	認定者	認定率 %	受験者	認定者	認定率 %
1999	877	72	8	948	395	41
2000	841	162	19	963	278	28
2001	643	396	61	898	684	76
2002	775	394	50	1,019	690	67
2003	668	399	59	1,081	799	73
2004	634	455	71	1,177	933	79
2005	708	466	65	1,422	991	69
2006	674	569	84	1,576	945	60
2007	690	496	71	1,857	1,284	69
2008	760	610	80	1,723	1,332	77
2009	796	702	88	1,693	1,372	81
2010	729	545	74	1,563	1,236	79
2011	748	534	71	1,693	1,224	72
2012	920	569	61	1,758	1,293	73
2013	953	297	31	2,041	1,030	50
累計	11,424	6,656	58	21,410	14,486	68

【マネジメントレベル】

（人）

年度\級	マネジメントレベル			
	受験者	認定者		認定率 %
		1級	2級	
2009	2	0	2	100
2010	10	0	2	20
2011	20	2	8	50
2012	110	5	24	26
2013	120	4	20	22
累計	262	11	56	25

※マネジメントレベルは、正解率によって1級又は2級を判定

(2) 和食検定の実施

①試験日・会場

第1回：2013年10月24日（木） 札幌、東京、大阪、福岡 及び団体受験会場

第2回：2014年2月22日（土） 仙台、東京、名古屋、大阪 及び団体受験会場

②年度別受験、認定状況

【基本レベル】

(人)

年度・回数\レベル		基本レベル				
年度	回数	受験者数	2級認定者	1級認定者	認定者計	認定率 %
2011	第1回	267	99	36	135	51
	第2回	172	52	16	68	40
2012	第3回	239	90	28	118	49
	第4回	183	46	6	52	28
2013	第5回	246	68	13	81	33
	第6回	256	84	10	94	37
合計		1,363	439	109	548	40

【実務レベル】

(人)

年度・回数\レベル		実務レベル				
年度	回数	受験者数	2級認定者	1級認定者	認定者計	認定率 %
2011	第1回	38	15	16	31	82
2012	第2回	16	11	1	12	75
	第3回	33	15	12	27	82
2013	第4回	22	6	5	11	50
合計		109	47	34	81	74

③和食検定説明会（計7回開催、参加者101人）

- 5月21日（火） 名古屋 12人
- 5月22日（水） 京都 14人
- 5月23日（木） 広島 6人
- 6月5日（水） 東京 36人
- 7月17日（水） 金沢 4人
- 7月18日（木） 富山 23人
- 7月30日（火） 仙台 6人

④和食インストラクター養成講座

和食文化の正しい知識を習得し、和食サービスに関する実務指導者の育成を目的に「和食インストラクター養成講座」と「和室の振舞講座」を以下の通り実施した。

- ・月日 「和食インストラクター養成講座」 8月5日（月）、6日（火）
「和室の振舞講座」 8月27日（火）
- ・場所 専門学校日本ホテルスクール（養成講座）、中野サンプラザ和室研修室（振舞講座）
- ・参加者 5人

6、海外研修生受入と国際交流の推進

日本旅館国際女将会の活動

日本独自の伝統・文化の振興、旅館の品質向上、接客技法の向上、旅館業の国際化に向けた取り組みを行うことを目的に、同会への人的、財政的支援等の運営協力を行った。

(1) 総会、勉強会

- ①月 日：6月25日（火）
- ②場 所：東京ステーションホテル 陽光
- ③内 容：2012年度事業報告、収支決算について
監査報告、退会者報告、2013年度事業計画案、収支予算案について
- ④勉強会：最近の旅館と旅行業界の関係
講師 石川尅巳氏（一般財団法人日本ホテル教育センター理事）
- ⑤懇親会・料理勉強会 同ホテルにて開催、参加者29人

(2) 世界のホスピタリティ体験シリーズ (3) 「スペイン・スタディ・ツアー」

- ①日 程：9月5日（木）～12日（木）
- ②訪問国：スペイン(バルセロナ、グラナダ、ミハス、ロンダ、セビーリャ、マドリッド、トレド)
- ③内 容：訪問都市の観光事情視察
日西国交400年を記念し、両国友情の印として、スペイントレド市軍事博物館の庭園に5本の桜を植樹
- ④参加者：11人参加

(3) 定例会・勉強会1

- ①月 日：12月19日（木）
- ②場 所：全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（全旅連）
- ③内 容：
 - ・定例会 新会員の紹介と承認
香港大学「Traditional Japanese Inn and Their Great Female Managers」、
広州「ジャパンディ」について
次年度の海外スタディツアーについて
 - ・勉強会 テーマ：消費税増税に伴う外税化について、耐震改修促進法改訂について
講 師：佐藤信幸氏（全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 会長）
山形県かみのやま温泉・日本の宿古窯（こよう）
 - ・懇親会、料理勉強会 於、赤坂 四川飯店
- ④参加者：22人

(4) 定例会・勉強会2

- ①月 日：3月24日（月）
- ②場 所：京懐石 柿傳
- ③内 容：
 - ・定例会 新規企業賛助会員について
次年度の「スタディツアー」について
 - ・勉強会 テーマ：世界無形文化遺産となった和食について ー和食の正しい理解ー
講 師：保田朱美氏（日本料理マナー・サービス研究所 所長）
 - ・懇親会 料理勉強会 於、京懐石 柿傳
- ④参加者：32人

7、その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 和食検定「入門レベル」の開発

「基本レベル」、「実務レベル」に続き、和食の魅力を伝え、和食の興味関心を高め、更なる検定の普及を図るため、2014年1月、新たに「入門レベル」（日英併記版検定準拠教材使用）の開発が決定した。教材完成は2015年2月、入門レベル開始は2015年度。

(2) 業界関係団体、企業、学校との交流・連携

関係団体等との交流・連携は、一部において学校法人日本ホテル学院としての参加を兼ね、次の通り参加した。

●2013年（平成25年）

- 4月 3日 一水会4月定例会 於、公益社団法人日本観光振興協会
- 5月22日 観光経済新聞社江口恒明元社長 一周忌参列 於、ホテル椿山荘東京
- 6月 3日 公益社団法人日本観光振興協会関東支部 総会
於、ホテルメトロポリタンエドモント
- 6月12日 公益社団法人日本観光振興協会 総会、懇親会 於、東京プリンスホテル
- 6月17日 一般社団法人全日本シティホテル連盟 総会、講演会、懇親会
於、ホテルグランドパレス
- 6月19日 一般社団法人日本旅行業協会 懇親会 於、経団連会館
- 6月25日 一般社団法人全国旅行業協会 懇親会 於、ホテルラフォーレ東京
- 6月28日 一般社団法人日本旅館協会 懇親会 於、京王プラザホテル
- 7月 3日 一水会7月定例会 於、公益社団法人日本観光振興協会
- 7月10日 富士屋ホテル勝俣伸会長ご尊父 通夜参列
- 7月31日 観音温泉後継者の婚礼出席 於、ホテルニューオータニ
- 8月 8日 一水会夏期特別例会 於、くらわんか（新宿）
- 9月11日 一水会9月定例会 於、公益社団法人日本観光振興協会
- 9月13日 JATA旅博2013開会式 於、東京ビッグサイト
- 10月 1日 観光庁発足5周年祝賀会 於、国土交通省
- 10月 2日 一水会10月定例会 於、公益社団法人日本観光振興協会
- 10月16日 国土交通省・観光庁 観光立国推進会議 於、東京プリンスホテル
- 10月16日 観光庁 来日外国人旅行者1000万人突破記念祝賀会 於、東京プリンスホテル
- 11月 6日 一水会11月定例会 於、公益社団法人日本観光振興協会
- 11月 8日 公益社団法人日本観光振興協会 旅フェア日本2013 開会式
於、池袋サンシャインシティ
- 11月28日 観光庁主催 観光地域づくりシンポジウム
於、品川グランドセントラルタワー
- 12月 4日 一水会12月定例会 於、公益社団法人日本観光振興協会

●2014年（平成26年）

- 1月24日 観光経済新聞社 人気温泉旅館ホテル250選 表彰式 懇親会
於、浅草ビューホテル

- 1月27日 観光関係団体／公益社団法人日本観光振興協会／一水会 賀詞交換会
於、東京プリンスホテル
- 2月 5日 一水会2月定例会 於、公益社団法人日本観光振興協会
- 2月17日 一般社団法人全日本シティホテル連盟 研修会 於、スクワール麹町
- 2月18日 第42回国際ホテル・レストラン・ショー開会式、懇親会
於、東京ビッグサイト
- 2月25日 プリンスホテルMICEフォーラム出席
於、グランドプリンスホテル新高輪
- 3月 5日 一水会3月定例会 於、公益社団法人日本観光振興協会
- 3月18日 一般社団法人日本ホテル協会 総会懇親会 於、帝国ホテル
- 3月20日 一般社団法人日本添乗サービス協会 懇親会 於、メルパルク東京
第42回国際ホテル・レストラン・ショーの協賛
日本の宿おもてなし検定の後援

(3) 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」申請校に対する協力

専修学校の専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的に、2013年8月30日、文部科学省より文部科学大臣告示第133号「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程」が公布、施行された。

この「職業実践専門課程」の創設に伴い、同課程の申請校が認定要件のひとつである「教育課程編成委員会」の学内設置にあたり、当法人に対し以下の専修学校より委員委嘱要請があり、財団職員1名が委員に就任し、2回の委員会に出席した。

今後、委員就任要請があった専修学校に対しては、適宜対応する予定。

学校名：大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校（大阪） 学校法人大原学園が運営

・第1回教育課程編成委員会 2013年12月2日（月）

・第2回教育課程編成委員会 2014年2月3日（月）

会場：学校法人大原学園 大原簿記学校（東京校）本館2階会議室

以上

Ⅲ 理事・監事・評議員人事

2013年度における理事、監事及び評議員の人事につきましては、次のとおりです。

2012年5月31日付	(任期中)	理事	石塚 勉 氏
	(任期中)	理事	津田 暁夫 氏
	(任期中)	理事	石川 尅巳 氏
	(任期中)	理事	玉井 和博 氏
	(任期中)	理事	徳永 清久 氏
2013年6月13日付	重任	理事	勝俣 伸 氏
	重任	理事	森本 昌憲 氏
2013年6月13日付	新任	理事	小林 哲也 氏
	新任	理事	岡田 慎 氏
	新任	理事	黒須 健二郎 氏
2013年6月13日付	重任	監事	玉井 浩二 氏
2012年5月31日付	(任期中)	監事	山口 祐司 氏

2013年4月1日付 (一般財団法人移行後の最初の評議員)

評議員	赤澤 儀一 氏
評議員	石川 二比古 氏
評議員	一條 達也 氏
評議員	兼高 かおる 氏
評議員	清原 當博 氏
評議員	小関 政男 氏
評議員	小林 信次 氏
評議員	武田 吉久 氏
評議員	田中 勝 氏
評議員	中村 義宗 氏
評議員	中山 智雄 氏
評議員	長嶋 秀孝 氏
評議員	野田 兼義 氏
評議員	松井 洋治 氏
評議員	平塚 武 氏

2013年6月13日付	退任	理事	大橋 寛治 氏
	退任	理事	加藤 喜広 氏
	退任	理事	伊東 信一郎 氏

以上

IV 評議員会、理事会等の会議

下記の通り開催、議案について審議し、それぞれ承認可決しました。

1、第1回理事会

- 1) 日 時 2013年5月23日 11:00～12:40
- 2) 場 所 八重洲富士屋ホテル 赤松（3階）
- 3) 報告事項 ①一般財団法人への移行登記完了の件
②理事長の職務の執行状況の報告の件
- 4) 付議事項 第1号議案 2012年度事業報告の件
第2号議案 2012年度収支決算報告の件
第3号議案 第一回定時評議員会の招集の件
第4号議案 重要な使用人（事務局長）の選任の件

2、第1回評議員会

- 1) 日 時 2013年6月13日 11:00～12:00
- 2) 場 所 八重洲富士屋ホテル 赤松（3階）
- 3) 報告事項 ①一般財団法人への移行登記完了の件
②重要な使用人（事務局長）の選任の件
- 4) 付議事項 第1号議案 2012年度事業報告の件
第2号議案 2012年度収支決算報告の件
第3号議案 理事・監事改選の件
第4号議案 公益目的財産額の確定の件
第5号議案 学校法人日本ホテル学院に対する借入金の返済の件

3、第2回理事会

- 1) 日 時 2014年3月26日 11:00～12:40
- 2) 場 所 ザ・プリンスさくらタワー東京 会議室N1-3
- 3) 報告事項 理事長の職務の執行状況の報告の件
- 4) 付議事項 第1号議案 2014年度事業計画承認の件
第2号議案 2014年度収支予算承認の件
第3号議案 第二回定時評議員会の招集の件

以上